

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和4年度第1回公民館運営審議会
日 時 令和4年 5月31日(火) 午前9時30分～11時30分
場 所 国分寺公民館 101会議室
委 員 出席者 中川 賢一、高橋 佳枝、石崎 勝二、石田 節男
高橋 裕美、津野田 久江、板垣 博史、北村 優子
篠原 文子、小林 直子、上野 文夫、鈴木 祐孝
羽石 孝子
欠席者 田熊 利光、小嶋 潔美

教育委員会	教育長	石崎 雅也
	生涯学習文化課長	浅香 浩幸
	国分寺公民館長	神山 裕
	石橋公民館長	櫻井 亜佐美
	南河内公民館長	齋藤 光利
	南河内東公民館長	大島 浩司
	生涯学習推進グループ 主幹	近藤 隆博

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和4年 6月 3日

- 1 開 会 南河内東公民館長 大島
- 2 教育長あいさつ 石崎 雅也
- 3 委嘱状交付
- 4 委員長、副委員長選出 委員長 中川 賢一
副委員長 板垣 博史
- 5 委員長あいさつ 中川 賢一
- 6 議 事
(1) 令和3年度公民館利用状況について
(2) 令和3年度公民館評価について
(3) 令和4年度公民館事業・受講状況について
- 7 その他
・ 下野市生涯学習推進協議会委員及び下野市社会教育委員について
・ 石橋複合施設利用料金、他について
- 8 閉会
(1) 令和3年度公民館利用状況について

中川委員長	<p>審議事項 議事(1)「令和3年度公民館利用状況について」について審議する。</p> <p>事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>議事(1)について委員から事前に提出された質問、意見について説明する。</p> <p>4館の1件あたり利用人数について、サークルの減少や交通の便、環境による各公民館の要因をそれぞれに説明。</p> <p>南河内公民館の学校、図書館が近いという恵まれた特色を活かし、今後も多種多様な企画を検討すること、また利用件数は公民館講座や自主サークルの利用も含め、行政、個人利用、占有貸出分すべてを含まれるということを説明。</p>
中川委員長	<p>ZOOMなどの講座について、公民館はWi-Fi環境が整っていないため開催に至っていないが、生涯学習情報センターのボランティア団体が令和4年度整備された南河内図書館を利用して実施したため、今後公民館もそのようなことを検討していく。</p> <p>事務局からの説明について何か質問はないか。</p> <p>異議なし。</p>

(2) 令和3年度公民館評価について

中川委員長	<p>次に議事(2)「令和3年度公民館評価について」審議する。</p> <p>事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>評価については、公民館長が評価したものを前委員が評価したものを集計したものであることをあらかじめ周知。</p> <p>全体的な意見として公民館まつりが2年連続中止になったため、代替え企画を複合施設に移転予定の石橋公民館を除いた3館が実施。石橋公民館は閉館に際して実施するメモリアル事業で、代替え企画と似た記念誌、DVD撮影を実施する。代替え企画は、指導員主体の事業としては初めてではあったがとてもよいものができたという評価を受けた。作成したDVDは各館で放映され好評である。令和4年度は、公民館だよりを指導員主体で行い、各施設に配付するなど幅広い周知を行うこととする。</p> <p>議事(2)「令和3年度公民館評価について」委員から事前に提出された質問、意見について説明する。</p> <p>公民館共通してよかった点、力を入れてほしい項目に対しては、重点的に推進すべき項目を絞り全館共通理解のもと、目標達成・改善に向けて対応する。協働のまちづくりの拠点としての公民館について、各公民館の取り組みを説明。</p> <p>評価が低かったものに対しては、各館とも今後目標を持ち、達成に向けて推進していくこととし、評価を入れる際、漏れがないよう注意を払うこととする。</p> <p>近隣市町や関係団体との連携について、公民館では、講座内容や講師の情報交換、講師となっている団体との連携を想定し、今後も多くの団体と連携を検討していくこととする。</p>
中川委員長 鈴木委員	<p>事務局からの説明について何か質問はないか。</p> <p>公民館評価の資料を見ると、たくさんの事務量がかかっていると思われる。前回の委員達はどのくらいの時間を要しているのか。</p>

石田委員	とても時間をかけて評価している。公民館側の評価が同じようなものであれば、評価側も大項目に関する意見だけの記入だけで良いのではないか。今後評価について検討する必要があると思われる。
委員全体として	利用していない館を、公民館評価を読んだだけで評価をすることにためらい悩んでいる委員が多数見受けられる。評価側、評価される側のためにも簡略化を望む声がある。
板垣委員	本来この評価は、4館を比べて上下をつけるようなものではない。全体の取り組みとして現状はどうかを評価するものである。4館共通の評価項目を検討し、それに各公民館の独自性を加えるものにしてはどうか。
中川委員長	評価というとそれぞれの公民館を競わせる部分ばかり目にしてしまう部分が多いが、本来これは利用者の利便性を向上させるためのものである。各館で切磋琢磨しながらよい公民館を目指してほしい。

(3) 令和4年度公民館事業・受講申込状況について

中川委員長	議事(3)「令和4年度公民館事業・受講申込状況について」審議する。事務局からの説明を求める。
事務局	<p>議事(3)「公民館事業について」委員から事前に提出された質問、意見について説明する。</p> <p>令和4年度 公民館事業概要の目的の中の「地域に根ざした」「あらゆる世代」については、「地域に根ざした」が公民館がある地域の特徴を取り入れた講座のこと。「あらゆる世代」とは世代間交流を促す講座の開催を念頭に置いている。講座のテーマによってターゲットをしぼった内容になるように企画している。</p> <p>国際的な講座や、環境に関する講座がないとの指摘については、4館全体で令和5年度の講座企画時に前向きに検討していくこととする。</p> <p>議事(3)「受講申込状況について」委員から事前に提出された質問、意見について説明する。</p> <p>定員に満たない講座については、各館で関係機関にチラシを配付し再度募集をかけ、又来館者に呼びかけやFMゆうがおで講座案内をするなどの周知をしている。大幅に申し込みが多かった講座については、6日間1コースを3日2コースに変更するなどの工夫を凝らし、できる限り受け入れ体制をとって対応している。</p> <p>スマホ講座など必要性が高い講座について受け入れが少ないという指摘に関しては、各館できるだけ多くの受講生に受講してもらえよう今後様子を見ながら検討していくこととする。</p> <p>「その他」「第二次公民館振興計画」について委員から事前に提出された質問、意見について説明する。</p> <p>社会教育法第3条に「社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作成、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実生活に即する文化的教養を高めるような環境を醸成するよう努めなければならない」「社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校との連携の確保に努めるとともに、家庭教育の向上に質することになるよう必要な配慮をするものとする」と明示されているように、今後も学校との連携を図るよう努めていく。</p> <p>公民館が地域に密着した拠点施設になっていない、公民館に立ち寄り</p>

中川委員長	<p>ない市民に対してどう対応していくかという指摘に対しては、地域拠点になるよう幅広い周知に努め、活動を知ってもらうよう公民館側で努力していく。</p> <p>また、令和3年度の評価結果については真摯に受け止め、検討している、計画期間5年間を通じて実現に向けて努力していくこととする。</p> <p>辛辣な意見が出たが、公民館は前向きに検討して行ってほしい。</p> <p>事務局からの説明について何か質問はないか。</p> <p>質問がなければ次に移る。</p>
-------	--

7 その他について

事務局	<p>下野市生涯学習推進協議会委員及び下野市社会教育委員について</p> <p>公民館運営審議会から推薦して欲しいという推薦依頼が来たため、事務局で選抜し、下野市生涯学習推進協議会委員に上野文夫委員、下野市社会教育委員に石田節男委員を推薦したことを報告する。</p> <p>石橋複合施設利用料金について</p> <p>12月にオープンする石橋複合施設の利用料金について、事務局側で料金設定（案）の資料を配付。次回6月30日の公民館運営審議会で見解を徴収します。</p> <p>質問がなければ本日の会議は以上で終了する。</p>
-----	---

閉会